

学校教育目標

- よく考える子ども
- 思いやりのある子ども
- たくましい子ども



11月号 宗三小だより

平成30年度
志木市立宗岡第三小学校
児童数330名(11月1日現在)
住所 志木市下宗岡 1-15-30
電話048-471-2244
http://www.mune3syo.ed.jp

人生を左右する「非認知能力」とは？

「非認知能力」という言葉を聞いたことはありますか？

これは、学力テストで測定される能力(=認知能力)とは違い、「忍耐力がある」とか「意欲的である」「社交性がある」と言った人間の気質や性格的な特徴のような能力を指します。

この「非認知能力」は大人になってからの社会的成功にとって重要な能力ではないかと考えられています。そして「非認知能力」は「人から学び、獲得するものである」とも考えられ、学校生活や学級生活で伸ばすことができるとも考えられています。

さて、最近、この「非認知能力」を伸ばしているなど感じる児童を、本校でよく見かけることが増えてきました。

例えば、「挨拶」です。年度当初は声も小さく、目も合わない児童がたくさんいましたが、運動会あたりから、自分から進んで挨拶をしたり、中には校外学習に引率した翌日に「昨日はお疲れ様でした」と声をかけてくれたり、怪我をした私の指を見て「先生、お大事に。週末はゆっくり休んでください。」と言ってくれる児童もあり、このような目覚ましい成長ぶりに驚かされています。

また、頼んでいないことをさり気なくやってくれる、気が利く児童も増え、とても助かっていると担任から聞くようになってきました。

さらに、先日の市内陸上大会では学校を代表する6年生が、緊張感に負けず、自分の力を最大限出し切ることができました。男女共にリレーで決勝に進めたこと、本番で自身の記録の中で一番良い記録を出すことなどを目にし、子供達の姿からたくさんの感動をもらいました。

ご家庭でも上の表の「非認知能力」を伸ばす取組を何か始めていただくとありがたいです。

参考：『学力の経済学』中室牧子（ディスカバリー・トゥエンティワン）

リクルート・マネジメント・ソリューションズ「人生を左右する「非認知能力」とは

図表 2 非認知能力とは何か

学術的な呼称	一般的な呼称
自己認識(Self-perceptions)	自分に対する自信がある、やり抜く力がある
意欲(Motivation)	やる気がある、意欲的である
忍耐力(Perseverance)	忍耐強い、粘り強い、根気がある、気概がある
自制心(Self-control)	意志力が強い、精神力が強い、自制心がある
メタ認知ストラテジー (Metacognitive strategies)	理解度を把握する、自分の状況を把握する
社会的適性 (Social competencies)	リーダーシップがある、社会性がある
回復力と対処能力 (Resilience and coping)	すぐに立ち直る、うまく対応する
創造性(Creativity)	創造性に富む、工夫する
性格的な特性(Big 5)	神経質、外交的、好奇心が強い、協調性がある、誠実

出所：Gutman, L. M. & Schoon, I. (2013) The impact of non-cognitive skills on outcomes for young people. Education Endowment Foundation をもとに筆者作成

